

質的研究のデザインとプロセス

近年、日本語教育分野でも、質的研究による研究論文が増えてきています。しかし、研究デザインの具体的な方法や各プロセスでの留意点が論文で明らかにされることは多くはありません。この研修では、まず、講師が自身の研究事例をもとに、研究課題や理論的立場、分析、結論の妥当性といった研究デザインのポイントと各プロセスでの留意点をご紹介します。また、質的研究では、そのデザインやプロセスで「自分が何に関心を持っているのか」「他者をどう理解するか」という自分自身の研究への関わり方を考えることで、解釈の妥当性を高めることが可能となります。ワークを通して、研究課題を明確にしたり、他者を理解する「可能性と限界」を見つめ、自身の研究をよりよくするヒントを共に考えます。

日時: 2017年2月4日(土)13時～17時

会場: [国際交流基金日本語国際センター](#) (JR 北浦和駅徒歩 8 分)
※センター内の図書館が臨時開館(11:30-15:00)しております。

講師: 八木真奈美氏(駿河台大学グローバル教育センター准教授)

コーディネーター: 菊岡由夏・杉原由美・矢部まゆみ(教師研修委員)

対象: 日本語教育分野で、質的研究に取り組もうと考えている方。
質的研究に興味のある方。

定員: 40名(先着順)

受講料: 一般 3,000 円, 日本語教育学会会員 2,000 円, 大学院生 1,500 円

内容: 予定のため変更することがあります。

13:00-13:40 趣旨説明/講義①質的研究のデザイン

13:40-14:30 ワーク①インタビューで研究課題を明確に!

14:40-15:40 講義②質的研究のプロセス(エスノグラフィー・ナラティブアプローチ)

15:40-16:20 ワーク②「自己理解」を深めよう

16:20-17:00 まとめ/アンケート

参考文献:①八木真奈美(2015)「質的研究の認識論—言葉を使う人間とその世界を理解するために」館岡洋子ほか『日本語教育のための質的研究入門』ココ出版
②八木真奈美(2007)「多言語使用と感情という視点からみる、ある『誤用』—定住外国人のエスノグラフィーから—」『リテラシーズ』3号, くらしお出版

事前課題:上記の参考文献①を事前に読んでください。

1月20日
締切

◆申込方法◆

次頁にある参加申込書(ワードファイルは[こちら](#)からダウンロードしてください)をメール添付にてお送りください。メールの題名は「2月4日質的研究申込」としてください。申込書が到着次第、折り返しメールで受講料の振込先等をご連絡します。締切は、2017年1月20日(金)、ただし、定員になり次第、締切前でも募集を終了します。

◆注意事項◆

申込書を送っても学会からの返信メールが到着しない場合は書類未着の可能性がございますので、必ずご自身の責任においてご確認ください。事務局対応は平日の9時～18時です。週末や夜間の対応は翌日以降となります。また年末年始到着分については1月5日以降の回答となります。なお、本募集に関して集めた個人情報には本研修の実施以外の目的には使用いたしません。

◆申込および問合せ先◆

公益社団法人 日本語教育学会
教師研修委員会事務局

E-mail: kyoshikenshu@nkg.or.jp

TEL:03-3262-4291

FAX:03-5216-7552

〒101-0065 東京都千代田区

西神田 2-4-1 東方学会新館 2F

～講師からのメッセージ～ 八木真奈美氏(駿河台大学准教授)



近年、日本語教育分野でも質的研究の成果を目にする機会が増えました。研究手法のみに焦点が当たりがちですが、その方法は目的によって、見たいものによって、調査者が10人いれば10通りの研究が成り立ちます。しかし重要なのは、対象となる人や事象を理解するため、自分に向き合うというプロセスと、それを組み込んだ研究デザインです。講座では、どのように研究が編まれていくかを共有し、ワークを通して、研究を考える際のヒントを体験していただきたいと思います。

<講師プロフィール>質的研究を通して、第二言語としての日本語を使う人々を中心に据えた研究を行っている。また、研究を通して得た知見を社会に還元する活動として「人によりそい、社会と対峙する研究会」を主催している。主著に『日本語教育のための質的研究入門』(共著・ココ出版)『人によりそい、社会と対峙する日本語教育』(単著・早稲田大学出版部)がある。

【日本語教育学会教師研修委員会宛】メール kyoshikenshu@nkg.or.jp

「質的研究のデザインとプロセス」(2017年2月4日) 参加申込書

氏名	(漢字) (ローマ字)
所属・職名	所属: _____ 職名(大学院生は学年): _____
種別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 日本語教育学会会員 [No. _____] <input type="checkbox"/> 大学院生
住所	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場
電話	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 携帯
FAX	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> なし
E-mail 携帯アドレス不可	※連絡の基本はEメールとなりますので、間違いがないかご確認ください。
日本語教育または言語教育活動経験	()年 主な機関 () 主な対象 ()

文字数等は問いませんが応募用紙全体がA4で1枚に収まるようお願いいたします

1. 本研修の受講動機を簡単にお書きください。

2. これまでに質的研究をされたことがありますか。(はい・いいえ)

1)「はい」と答えた方は、どのようなことを難しいと感じていますか。

2)「いいえ」と答えた方は、どのようなことが難しそうだと感じていますか。

3. この研修コースを何で知りましたか。該当するものに☑をつけてください。
 (1)学会からのメール (2)その他からのメール() (3)学会ホームページ
 (4)学会からのチラシ (5)学会誌『日本語教育』 (6)友人・知人
 (7)大学・日本語学校等機関() (8)その他()

4. 当日研修の様子を記録・広報等の使用目的で写真撮影をいたします。該当するものに☑をつけてください。
 →記録・広報用の写真に写ることを 承諾する 承諾しない

5. 本研修では、当日以下のようなイベントをご用意しております。参加を希望される方は、☑をつけてください。
 日本語国際センター内施設見学ツアー(12:10~12:40) 講師との懇親会(17:45~:別途有料)
※研修会当日は、日本語国際センター図書館が臨時開館(11:30-15:00)しております。世界の日本語教科書、日本語教材、質的研究の資料が多数揃っております。また、当館所蔵の質的研究文献リストを配布いたします。ぜひご利用ください。
 ※施設見学ツアーにご参加される方は、ご自身で昼食を済ませてくださいますようお願いいたします。なお、センター内の食堂は当日閉館しておりますので、ご了承ください。